



2004年6月15日

報道関係者各位

IVRC 実行委員会

Laval Virtual 学生コンテストにて「IVRC Award」授与

Laval Virtual (ラバルバーチャル) 学生コンテストについて

フランス・マイエンヌ県ラバル市で2004年5月11～16日に、ヨーロッパで最大のバーチャルリアリティ関連イベント Laval Virtual (<http://www.laval-virtual.org/>) が開催されました。今年で6回目となるこのイベントでは、バーチャルリアリティ (VR) 業界の有名企業による展示、ワークショップ・セッションが行っています。このラバルバーチャルでは例年、学生コンテストを開催し、国際色豊かなチーム達が新しいVRの技術の応用を競い合っています。

本年度の学生コンテストにおいては、IVRC2003の優勝作品を含む2作品がシード枠として招待参加しました。

初の IVRC Award 授与

2004年5月13日、IVRCは国際協力関係にあるラバルバーチャルとの、3年間にわたるパートナーシップに関する協定を正式に結びました。この協定で、IVRCとラバルバーチャルは、2004年から2007年までの3年間、お互いのコンテストの優秀作品に対し、Laval Virtual Award および IVRC Award の授与を行い、それぞれのコンテストの最終審査へ、シード出場させることが決定しました。

翌14日に執り行われた、表彰式において、IVRCはラバルバーチャル学生コンテストの優秀作品である、『Pinocchio, a virtual character』に対し、国際化初となる「IVRC Award」を授与しました。合わせて、この作品を製作したフランスのブレスト国立工科大の大学院生である Christophe LE GAL さんと Thomas JOURDAN さんには、2004年10月29日・30日に岐阜で開催される IVRC2004 岐阜本大会へのシード出場権が授与されました。



IVRC Award を受賞した仏国の学生ら。

左から Thomas JOURDAN さん、Pinocchio、
Jacques TISSEAU 教授、Christophe LE GAL さん



IVRC Award 授与作品について

今回、6th Laval Virtual の学生コンテストにおいて、IVRC Award を受賞した『Pinocchio, a virtual character』は、世界的に有名なキャラクター「ピノキオ」を操り人形（マリオネット）のように操ることができるという作品です。この作品は、実際にマリオネットを操作する際に用いる、十字型のクロスを持ってカメラの上で動かせば、モニター上にCGで描かれたピノキオのマリオネットを、その動作に応じて躍らせることができるというものです。



『Pinocchio, a virtual character』を体験する
IVRC 実行委員長舘教授と説明する院生の方々



『Pinocchio, a virtual character』の装置。
手に持ったクロスをカメラで撮影している

この作品の優れているところは、実際にマリオネットの操作に用いるクロスを持つだけで操作が可能だということです。センサをクロスには取り付けず、机の上に置かれたカメラでクロスを真下から撮影し、画像処理を行うことによりクロスの動きを読み取っています。さらに人体の構造を持ったピノキオはリアルタイムで計算を行い、操作者は自由な動作で、さまざまな動きをピノキオに躍らせることができます。

この作品は、10月29日から30日に開催されるIVRC2004 ファイナルステージである岐阜本大会で、東京予選を勝ち抜いた日本代表作品と共に公開展示されます。作家のThomas JOURDANさんは2年前から日本語を勉強しており『日本のゲーム開発企業で何年か働くことが夢です。この4ヶ月を待つのが大変』とコメントしています。

本件に関するお問合せ先

郵送、電話、FAX

日本 VR 学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-4 東京クリスタルビル 9F

TEL:03-5840-8777

FAX:03-5840-8766

IVRC 担当：田中

電子メール info@ivrc.org

公式ホームページ <http://www.ivrc.org/>